



十方
院
角
平

十

全
名
元

和漢朗詠集上

春

立春

早春

春興

春夜

子日

付若菜

三月三日

付桃

暮春

三月盡

閏三月

鸞

霞

雨

梅

付紅梅

柳

花

付落花

躑躅

款冬

藤



夫立夫之春
和漢朗詠集上
五

夏

更衣

首夏

夏夜

端午

納涼

晚夏

花橋

蓮

郭公

螢

蟬

扇

秋

立秋

早秋

七夕

秋興

秋晚

秋夜

八月十五夜

付月

九月九日

付菊

九月盡

女郎花

萩

蘭

槿

前栽

紅葉

付落葉

鴈

付歸鴈

出

鹿

露

擣衣

冬

初冬

冬夜

歲暮

爐火

霜

感也我君一日之澤方棧之餘曲水維遠
 遺塵隨後書巴字而如地勢思魏文
 以觀風流蓋志之所之謹獻少序云尔
 烟霞遠迎應回杳杳淺深作勸盃
 水成巴字初三日源起周年後幾霜
 嶽石遲來公寂約常流過過平光在

桃

夜雨偷濕曾波之眼新嬌曉風緩吹
 不言之唇也
 暮春

拂水柳花千方點隔樓寫香香
 暮春

但翅沙鷗漸落曉亂綠野鳥爭春
人無更女時須惜年不當春酒莫空
劉伯若知今日好應言此愛不言何
いささくおすつらつらむいお月重し
つかさくくくくくくくくくくくくく

三月盡

留春不語春歸人寂寞獸門不
留春に不語春歸人寂寞獸門不

風起花蕭索

竹院君閑法永白花亭我醉送殘春

惆悵春歸留不以紫蔣花下渺黃昏

送春不用動舟車唯引殘鶯乞落
送春に不用動舟車唯引殘鶯乞落

若使韶光知我意今宵接宿在詩家
若使韶光知我意今宵接宿在詩家

留春不用闌城回花滿陌風多入
留春に不用闌城回花滿陌風多入

相承上

春より乃ちやもくもふかちりて思ふことあり
きしよとやもくもふかちりて思ふことあり
はかまふもふかちりて思ふことあり
あつたもふかちりて思ふことあり
まことしむもふかちりて思ふことあり
らりて思ふことあり

閏二月

今年閏在春二月ニ多クハニル割着金陵一月陸防花
歸給秋常更カハルタニニ還留於孤雲之路ニクニニ辞林

蘇峰をフ翻テ翻ホ於一月之花陸防

花梅復根無ハ梅鳥ハ於入谷定テ定期陸防
あつたもふかちりて思ふことあり
まことしむもふかちりて思ふことあり
らりて思ふことあり

鸞

鸞改鳴忠カ信待テ且ツ常未出遺賢風乃王鸞在谷
誰家碧樹カ鳥啼テ西羅幕ラ終タ嵩タ幾タ又タ花カ

うくもさうのこゑをらとさゆさうえぬ
中勢

霞

霞^{アサギ} 暎^{アサギ} 後^{アサギ} 設^{アサギ} 於^{アサギ} 火^{アサギ} 卓^{アサギ} 色^{アサギ} 晴^{アサギ} 未^{アサギ} 嬾^{アサギ} 似^{アサギ} 煙^{アサギ}

鑽^{チル} 波^ラ 卓^ハ 只^ハ 三^ハ 分^ハ 許^ハ 踏^ハ 樹^ハ 霞^ハ 繞^ハ 半^ハ 段^ハ 餘^ハ

さ乃みぬをうらうらさうらうらうらうら
かきれ山すけやうらおせると
けり子こさくかやいつこさうら
うらうらやまふらうらうらうらうら

あさぎをさうのこゑをらとさゆさうえぬ
てりうれうとこハさうらうらうらうら

雨

或^{ハタテ} 花^ハ 下^ハ 潜^ハ 増^ハ 雲^ハ 子^ハ 之^ハ 悲^ハ 時^ハ 暮^ハ 疑^ハ 問^ハ

暗^{ニシカス} 動^{ハシ} 藩^ラ 帛^カ 之^ハ 思^フ

長^{チカ} 樂^{ラク} 鐘^ネ 聲^ノ 花^ハ 外^ハ 盡^ス 詠^フ 池^ハ 柳^ハ 色^ハ 雨^ハ 中^ハ 涼^シ

養^{テハ} 得^ル 同^シ 為^ル 花^ハ 父^ハ 母^ハ 洗^ハ 未^ハ 寧^ハ 辨^ハ 榮^ハ 君^ハ 后^ハ

用家上

山家

養雨教練 紀御言

山家

山家

花新開日初陽洞鳥志歸時落暮陰
 斜脚暖風先扇後晴發初日未晴
 雨くくうるとわぬハありこゝあつてハ
 わらうとえんくか乃うあふくくさく
 何をやこゝあふくくわうけりこゝあ
 いともくわさぬをさうさくせしや

梅

白片落梅浮洞水黃梢新柳出城牆

春至香雪白

梅花第雪飛琴上柳交和煙入酒中

早春香標

煙也

淑暈臘雪新封裏似鏡春風未扇先

又誰羨美云淫耳但憶大瘦万株毒

誰言春色長東到落暖南枝花始開

青絲綠出陶門柳白玉裝成瘦嶺梅

いろくろく補う得る一のわあとの
 ろくくこのむえいさかささるる

わうせうふとさむじとちりひり梅の赤人
きさうさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
かきとさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
まあやなうさくさくさくさくさくさくさくさく

紅梅

梅ハ含テ鷄チ舌セ魚サ紅ニ采キ江ハ島テ瓊ケ花ク帶タ瓊タ女メ
之種

淡紅鮮媚仙方之雪魄色濃香芬郁
鏡橋梅已用序橋と通

蛟龍之煙護董

有テ色レ易シ分ク殘ク香ク底ニ情ヲ託シ錦ニ綉シ夕陽中
庭中紅梅前中書

仙的風生也鼓雪野爐火暖來揚燧
兒女

さうんさうさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
りちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちち
以清りさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく

柳

林堂何處又吟詠
誰家暝
早春の白

漸欲拂^{ハク}他^ノ騎^キ子^{バノ}客^ヲ未^タ多^ク度^カ以^テ上^ル樓^ニ人^ヲ

望^ム女^ノ廟^ノ花^ハ紅^ク似^ク粉^ニ眼^ヲ君^ノ村^ノ柳^ノ翠^キ如^ク眉^ノ

彼^レ知^ル志^ヲ風^ノ情^ヲ女^ノ見^ル此^ノ年^ヲ無^ク一^ノ句^ノ詩^ヲ

太^コ便^レ嶺^ノ之^ノ梅^ハ早^ク落^ツ誰^カ回^シ粉^ヲ粧^ヲ運^シ登^ル山^ニ

之^ノ香^ハ未^ダ開^ケ豈^ニ趁^ル紅^ク艷^ニ

雲^ノ散^ラ華^ヲ紅^ク院^ノ枝^ノ柔^ク日^ノ春^ノ嬌^ク黃^ク珠^ノ散^ラ柳^ノ風^ノ

停玉看柳色在記約云

田邊三白

柳^ノ毫^ノ迎^テ晴^ク庭^ノ月^ノ晴^ク陸^ノ池^ノ遊^ル日^ノ水^ノ燦^ク深^ク

潭^ノ心^ノ月^ノ流^ル更^ニ枝^ノ挂^ル岸^ノ口^ノ風^ノ來^ル濕^ク葉^ノ頻^ク

あ^をま^やこ^のい^とら^らむ^らけ^らま^りを^り

あ^をま^やこ^のい^とら^らむ^らけ^らま^りを^り

花 付落丸

花^ノ明^ク上^ル苑^ノ暈^ル水^ノ池^ノ九^ノ陌^ノ之^ノ塵^ノ撒^ル川^ノ空^ク

山斜月影千数之流

田居賦 張璠

池色溶々藍深水花兒燭々火燒春

遙見人家花便入不福也賦與親疎

蒙日影風之似子顆万顆之出涂枝

深浪表裏一入再入之記

東三不

誰謂水無心濃發隨步散家又誰謂

花不語埋漾激步之動層

田居賦

欲謂之水則漢女妝粉之流清夢欲

謂之花也蜀人漢文之錦繁燦

賦自何線唯苦雨裁無之損任春風

花如散華流散賦去春風未盡

始識春風機上乃非唯賦色賦共芳

田居賦

中し乃もらとのそりあはれこふあらん
これくらげらとあさささあらんすか

躑躅

晚スレハ蕙スレハ尚スレハ開スレハ紅スレハ躑スレハ躅スレハ秋スレハ房スレハ初スレハ結スレハ白スレハ芙蓉スレハ

夜遊人欲尋来把笔食家夜折以發

かりひいつらとさへら山乃いとつし
いら孫いしをせさるひーさ物子

款冬

點着唯チヤクシ黃天有ワウテン言コト款冬クワントウ誤アヤマ寢ネ暮ク春風ハルカゼ

書意多シヨイタ卷相收拾マクマヒツク詔紙ミコシ無文ムブツ未奉ムヒキヤウ納ノウ

かえはあくみさるらんりふおのさすて
いまわらくらやまやあささあんか
らうらなや乃やへ山もふいむとへ
ららこれららんららのらさみり

藤

悵望ニウボウ慈恩ジイン二月ニゲツ盡ツク與ヨ藤フジ花ハナ落オチ多タ園エン

七
相
家
二

夏夜

風吹枯木晴天雨月照平沙夏夜露
白梅夕電白
 風生竹夜窓間月照松時盡上行
白
 空夜窓閑螢度枝涼更軒白月明初
九
 ちのり夜を寝ぬおあまわとついで
 むといのよのよをかあいのさるさる
 月とこよよさるくやさうこれうらやま
 へさう〜わさうとあ〜うほ〜

端午

ちのり夜を寝ぬおあまわとついで
 なくむと〜あまわさる〜の〜
 有時當戸危身之無志故園任脚約
下
 ちのりこよよさるくやさうこれうらやま
 おむと〜く〜やさうさるさる
 こらあまわ〜あまわ〜あまわ〜
 ちのりこよよさるくやさうこれうらやま

納涼

うつらうつらあふささしつらあつらあつらあ
 いつらうつらあふささしつらあつらあつらあ
 祢さささささささささささささささ
 きあいらささささささささささささ

花橋

盧橋子位山雨重拊桐葉戰水風涼
ロキツミタテ ウレシイリヨハ ハシヨシ

枝波金於春雨後花董此腐凱風祀
ニカク ニオラ ニ ハクシズ ニ ニヤラカ ニ

さつささささささささささささささ
 さつささささささささささささささ
 さつささささささささささささささ

日とささささささささささささ
 ささささささささささささささ
 ささささささささささささささ

蓮

風行老葉蕭條綠水菰殘花富莫紅
ハ ハ ハ ハ ハ ハ

葉展影翫愛如月花開香散八為風
ハ ハ ハ ハ ハ ハ

煙用翠扇清風曉水流紅衣白落秋
クスイ セシラ ウカフ シラ シラ

岸竹枝短夜宿潭為葉動氣魚遊
カ カ カ カ カ カ

消雪積雪片も床頭

秋雪照懸絶句云

白鳥橋古橋

山径寒裏氣過山海賊篇中似宿流
くさぬくこあれさやのさりて
つとふさくせぬららららららら
つとふさくせぬららららららら
こらわあさわらりらららららら

蟬

遅く春春日玉枕暖く温泉溢る

号秋風出塔鳴号宮樹紅

白雲

千峯鳥路含梅雨五月蟬聲送麦秋

鳥下緑並春苑静蟬鳴苦寒漢夏秋

今年夏例陽光新不足蟬悲客志悲

歳去冬来穂不憂莫言秋後遂为客

ながら山のさゆらこすくれたろ
あさうせこのさゆらこすくれ

あはれよるるもむともしらぬわいし
わをよあくしり乃ちわらふま

弱

盛衰不銷雪終年葉盡風テ秋キ也

裏藏月入懷中

西弱動

白

不期ス衰滿キ初セ後セ唯エ散エ秋風フ未レ到キ前
つるれつらくせすくきこころあはれ
あふさのりつちさるまやうさう

もさちのりいあふさ乃ちせらおさうりて
せしすみさうれうこころのり
さみうそにまうさうつされせうん
さむうねくさしわしとせせらふ

秋

立秋

蕭セ涼ラ涼サ風ツとト裏ス蟻イ誰ビ教カ討ク會シ一ソ時ノ秋ニ

鷄ク漸サ散ツ回ル秋ニ色シ少シ輕リ常ガ趁ニ處ニ旣ト夢シ微ク

あつちのわと先にはさやふふさふふも
こせうのよとくしあかろくろくはあ
うらつちのおゆううあさこのあらう
うさのひらけはあさあさとおひん

早秋

但喜暑随之伏去不知秋送二毛来

槐花雨润新秋地桐葉風凉欲夜天

笑景剩残夜尚重晚凉潜初露早知

秋うららくわくわくとあふぬとこあぬわ
つとせのうけハをとりとすし

七夕

憶得ぬ年長乞巧竹竿頭上秋涼多

二星遙逢未叙別端依之恨又秋

将明疑警凉风飒之之聲

露應別浦珠空海雲在殘梧蟬未夜

第一傷心何處寂竹風鳴葉月如畫
蜀茶漸老浮花又健練新傳樹常發
うらみあつていふれあつてさこのあつてけいさふ
おりの人とともころころあつて
つらさのころをともあつてわらわらさつて
はらぶらうらみのせつころあつてはら

秋暁

相思夕上松臺空暮思好舞滿耳秋

望山臨月猶花影初移泉轉信聲
かろやりのあつてあつてあつてあつてあつて
はらのにこころあつてあつてあつてあつて

秋夜

秋夜長こころ無眠天不明秋と残燈
宵聲歇着と晴雨打忘多
遅と鐘漏初長夜秋と星河彼曙天

鷺子橋中霜月夜秋來只為一人長
 夢草草落深人宅後終宵言盡月如秋
 蕙蕙洲裏孤舟夢榆柳衰頭万里心
 何一むこころ山とられよのまををの
 あうくくくくくくくくくくくくくく
 さのくくくくくくくくくくくくくく
 いっくくくくくくくくくくくくくく

八月十五夜 付月

秦甸之一千餘里寒風冰滿漢家之

三十六宮澄之粉飾

織錦機中已辨相思之字擣衣砧上

俄忘怨別之輝

三之夜半新月多二千里外故人

嵩山表裏千里雪落冰高似夜顆珠

朔末上

二十九

十二過中無勝於此夕之好九二千萬家外

天宮秋月如神化細

皆多トウシラ於ニ此コノ家ノ之ノ夕ト

月乳由伏池月乳由伏池停停

碧浪金波三五初秋風計會似ニ之ノ夕ト

自ミ家ノ荷ノ葉ハ幾ニ霜ハ早ニ入リ導ヲ為シ花ハ過リ雨ハ餘リ

岸キ白シ還ル迷フ松ノ上ニ鶴ノ浮キ鞆ノ可シ集ル溪ノ中ニ魚ハ

瑤池便ハ是レ為シ常ノ步ヲ此ノ景ヲ清明ハ玉ノ不レ如シ

金膏カ一滴ヒ秋風露カ連ハ之ノ更ハ於レ漢ノ雲ハ

由月明夕夜下

楊貴妃ヤ歸キ唐ノ帝ノ思ヒ夢ヲ入リ去リ漢ノ宮ノ情ハ

三山乃ハ昔ノありし月ノ光ハ成ルのハ其ノ夕ト也ナリ
こよむをハ夕ノあハさレれハ夕ノあハさレるハ夕ノあハさレるハ

月

誰カ又ハ隨フ外ニ又ハ征ル戎ノ何レ處ニ逢フ新ノ秋ノ別レ離ハ

秋月白

秋ノ水ハ澄シ乘ル舩ノ去リ速ニ夜ノ雲ハ收メ月ノ影ハ如シ

相承上

三二

不辭黔中不辭黔中 申去得摩圍山申去得摩圍山 月正寒月正寒

天山不雜天山不雜 何年雪合浦何年雪合浦 夜逢蓬蒿白夜逢蓬蒿白

欲和豐頌鐘聲欲和豐頌鐘聲 吾其奈流亭吾其奈流亭 鶴鶴

拜渡教坊拜渡教坊 征戎客棹征戎客棹 一曲釣漢前一曲釣漢前

つらつらつらつら ちりちりちりちり くれくれくれくれ ちりちりちりちり

こくらのやまこくらのやま ちりちりちりちり ちりちりちりちり

ちりちりちりちり ちりちりちりちり ちりちりちりちり

ちりちりちりちり ちりちりちりちり ちりちりちりちり

九日 付菊

鷺知社鷺知社 白辭巢白辭巢 去菊去菊 為重陽為重陽 冒雨冒雨 開

採故事採故事 於漢武於漢武 則赤吏則赤吏 柝交交柝交交 之夜

尋舊尋舊 出魏文出魏文 尚黃花尚黃花 助款助款 祖之祖之 琳

夕夕 之之 逢逢 考考 吹吹 其其 花花 以以 曉曉 星星 之之 照照 江江

川テ分ク号ク湯ニ其ノ軟ク秋ノ雲ノ之ノ迴ル洛ノ川ヲ
ヨシ谷ノ水ヲ流シ而下流ニ得ル上ニ壽者者廿餘ヲ
チ家ノ地ノ肌ノ程ノ味ノ冷ニ日ノ精ノ駐ル年ノ顏者者又百ノ箇ノ歲ヲ
シコノヤノのニミク此ノ志ノ落ルニシテハヨクナリトシテハ

菊

セ霜ノ遠ク老シ變ルニ分白ク露ニ菊ノ新ニ花ハ一ニ半ノ黃ク
ハ不レ足ク花ノ中ニ偏ニ愛ス菊ノ此ノ花ノ開ク後ニ更ニ無ク花ハ

ハ不レ足ク花ノ中ニ偏ニ愛ス菊ノ此ノ花ノ開ク後ニ更ニ無ク花ハ
ハ風ノ陰ニ欲ク暮ル松ノ栢ノ之ノ後ニ凋ル秋ノ景ノ早ク後ニ
ハ嘲ル芝ノ蘭ノ之ノ先ニ敗ル
ハ鄴ノ縣ノ村ノ間ニ皆ニ洞ノ屋ノ陶ノ家ノ兒ノ子ノ不レ為ク室ヲ
ハ蘭ノ苑ノ自レ轉ル為ク俗ノ骨ノ樞ノ樞ノ不レ信ク有ク長ク生ル
ハ蘭ノ蕙ノ苑ノ尚ニ推ス此ノ紫ノ後ニ蓬ノ萊ノ洞ノ月ノ照ル霜ノ時ヲ

おささしれくものうらみちろさくしあ
まのゆきしやまきつれまら
くちろあそふからりやけりやうの
りまことりせりまらりまのりか

九月盡

旅以清函為固跡苗南忍控まらぬ
今至貴而進何を契乾於風境
頭目能随禪客乞以秋旅と大強難

文筆按電白約家詞海艦舟紅葉
やしらむしわさしれまらりまら
まきこの葉もらふもまらりまら
らまらりまらりまらりまらりまら
わらりまらりまらりまらりまらり

女郎花

花色如薰粟俗呼為女郎
物借老怨思衰翁首似霜

にこそなへしおほくおほくおほくおほくおほく
あやあやあやあやあやあやあやあやあやあや
をみまきりしをみまきりしをみまきりしをみまきりし
いとくじうらわさくせしはくじうらわさくせし

萩

曉露麻鳥花始發百般拳折一時情
あささ乃おほくおほくおほくおほくおほく
あやあやあやあやあやあやあやあやあやあや
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
おほくおほくおほくおほくおほくおほくおほく

つき乃おほくおほくおほくおほくおほく
おほくおほくおほくおほくおほくおほくおほく

蘭

前頭更有清香物志菊義蘭二交萩
杖束萱無家平浮世掩面包背義蘭
豈不芳乎秋風吹面足敗
凝如漢女顏施粉滴仙較之眼泣珠

曲教萬物定容秋法觀夢以無炬暗花意
わーあーぬーのーにーがーむーつーあーさーのーあーらーふ
ふーらーうーぬーさーのーくーーぬーらーけーくーらーぬーさー

檜

松樹千年終是朽檜花一日自為榮

来西不留燕境有拂晨之露去而

不返檜羅無投筆之文

おひらつかさへわらうとあそびあそぶこと乃
あそびあそぶこと乃あそびあそぶこと乃
あそびあそぶこと乃あそびあそぶこと乃
あそびあそぶこと乃あそびあそぶこと乃

前栽

多自栽花收自侍以时務春待闲遊

自吾闲寐家僮供春樹春栽秋意秋

闲思看汝花红日正是南名疑白年

秘苑花柳诗保胤
時一

卦杖花下

匡代中

出中

十ス エイラ

直轄

曾非種慶思元亮為是花時供世尊
らるる成ふす多しやもふん
いりしころわらとこころのふれ
けかゆくよあをさうあふしつせふ
とくはといくわさきもさる

紅葉 付落葉

不堪紅葉も常地又是涼風多雨天
黄瀬瀬林寒有葉吹落瑠璃氷淨無風

洞中清淺瑠璃氷庭上蕭疎錦滿林
外物獨醒松洞色餘波合カ錦之輝

落葉

三秋向宮滿心長空階雨滿万里向

弭園何在為葉寔汝

女真白

秋道不拂推為藤杖因踏梧桐黃葉仍

城柳官槐陽搖落秋悲不到貴人公

移撤新中一為之雨之霞鵬鳩宵

上教序之江鏡波

康弓難避味拋疑於上強之月懸

奔流易逆於成謀於下流之水急

鴈飛碧落書青絨隼擊霜林破後機

碧玉振箏斜立柱青莖色淡教以書

雲長范林羈中贈風樽着尚湘浪上舟

あさうをせおくものさしとくそこの世をり
あさうたまたまのさるをのさるてまらるる

歸鴈

誰家思婦秋接鬢月苦風冷石竹虫
四時更盡二分減百物蹉跎過半周
衣上春收青竹葉連中用出白綿衣
冰中月出清如水
~~~~~  
~~~~~

冬夜

一盞寒燈言外中教盡溫耐雪冲春

年光日向燒
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

歲暮

寒流常月洗  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~


やまのまはれみさのいささかひらけりる色に
らみろくゆるらるるこころもやとらん

霰

塵軍由米靴聲を脱籠鎖珠投懸寒
こやまおのあられあさしとやよがれ
ぬこころあらしらつこころふさふさ

佛名

香火一炷燈一盞白以夜礼佛名經

香ハヨリ自ニ祥セ心シ無シ用ケ火ヲ花ハ開テ合ニ掌ニ不ヨラ同ク春ニ
あつたまのころもくれないつくろと
ほろもれこころ付かちや志あらん
かそふさこころあかみけにささく月を日
もくらむいあかきさふいさくから春
あしれうらふつわらつこころいささか
あらしらゆるさあささささささ

和漢朗詠集上



十方りある

いせ蔵

加

十方りある

々

大々々々

